

IX. 連結レバレッジ比率に関する開示事項

1. 連結レバレッジ比率の構成に関する事項

(単位：百万円、%)

国際様式 (表2)の 該当番号	国際様式 (表1)の 該当番号	項 目	2021年3月31日	2020年3月31日
オン・バランス資産の額 (1)				
1		調整項目控除前のオン・バランス資産の額	8,150,974	8,105,763
1a	1	連結貸借対照表における総資産の額	8,197,750	8,147,386
1b	2	連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率の範囲に含まれない子法人等の資産の額 (△)	—	—
1c	7	連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率の範囲に含まれる子会社の資産の額 (連結貸借対照表における総資産の額に含まれる額を除く。)	—	—
1d	3	連結貸借対照表における総資産の額から控除される調整項目以外の資産の額 (△)	46,775	41,623
2	7	Tier1資本に係る調整項目の額 (△)	11,663	9,692
3		オン・バランス資産の額 (イ)	8,139,310	8,096,071
デリバティブ取引等に関する額 (2)				
4		デリバティブ取引等に関するRCの額に1.4を乗じた額	—	—
		デリバティブ取引等に関する再構築コストの額	13,875	7,651
5		デリバティブ取引等に関するPFEの額に1.4を乗じた額	—	—
		デリバティブ取引等に関するアドオンの額	39,680	46,272
		デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた証拠金の対価の額	—	—
6		連結貸借対照表から控除されているデリバティブ取引等に関連して差し入れた担保の対価の額	—	—
		連結貸借対照表から控除されているデリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた証拠金の対価の額	—	—
7		デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた変動証拠金の対価の額のうち控除する額 (△)	—	—
8		清算会員である銀行又は銀行持株会社が補償を義務付けられていない顧客とのトレード・エクスポージャーの額 (△)	—	—
9		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額	—	—
10		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額から控除した額 (△)	—	—
11	4	デリバティブ取引等に関する額 (ロ)	53,556	53,924
レポ取引等に関する額 (3)				
12		レポ取引等に関する資産の額	—	—
13		レポ取引等に関する資産の額から控除した額 (△)	—	—
14		レポ取引等に関するカウンターパーティ・リスクのエクスポージャーの額	7,121	4,579
15		代理取引のエクスポージャーの額	—	—
16	5	レポ取引等に関する額 (ハ)	7,121	4,579
オフ・バランス取引に関する額 (4)				
17		オフ・バランス取引の想定元本の額	1,661,899	1,543,097
18		オフ・バランス取引に係るエクスポージャーの額への変換調整の額 (△)	1,424,217	1,327,721
19	6	オフ・バランス取引に関する額 (ニ)	237,682	215,376
連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率 (5)				
20		資本の額 (ホ)	550,751	501,939
21	8	総エクスポージャーの額 ((イ) + (ロ) + (ハ) + (ニ)) (ヘ)	8,437,671	8,369,950
22		連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率 ((ホ) / (ヘ))	6.52%	5.99%
日本銀行に対する預け金を算入する場合の連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率 (6)				
		総エクスポージャーの額 (ヘ)	8,437,671	—
		日本銀行に対する預け金の額	955,411	—
		日本銀行に対する預け金を算入する場合の総エクスポージャーの額 (ヘ')	9,393,083	—
		日本銀行に対する預け金を算入する場合の連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率 ((ホ) / (ヘ'))	5.86%	—

2. 前連結会計年度の連結レバレッジ比率との間に著しい差異を生じた原因

該当事項はありません。